

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	KH	学部・学科	国際商学部国際商学科
学 年	4	派遣国	イタリア
派遣大学	ベネチア大学		
期 間	2024 年 9 月 1 日～ 2025 年 6 月 30 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (60,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(バス) で、約 (20) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	16,000 円	自炊のための食費
学用品購入費	0 円	
交通費	3,500 円	メストレからベネチアへのバス定期券
交際費	6,500 円	カフェや映画鑑賞など
その他	1,200+2000 円	洗濯月 3 回程度+散髪

合計 29,200 円 *概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

基本的に治安面で不安を感じたことはない。スリに気を付けることや深夜に出歩かないこと等の基本的な対策を行っていれば問題ない。

ベネチアは観光客が出払うとほとんど人が歩いておらず安全だと感じる。一方で多くの留学生が住んでいるメストレは移民が多く治安の悪さを耳にする。Via Piave という街の中心に位置する通りは特に治安が悪く注意が必要。

3. 海外旅行損害保険について

保 険 の 名 称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(103,930) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保 険 の 名 称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (メストレ)

ベネチアの隣に位置する都市。ベネチアへはバス、電車、トラム、徒歩での行き来が可能。ストライキで何かしらが一日動かないといったことがよくあるがどうにか移動することができる。バスの定期券は全区間に対してのものであり、空港への移動も定期券を使うことができる。

ある程度の大きさがある街なので困ることはない。良くも悪くも移民が多い。ミニマーケットや中華料理、ケバブを扱う店がある。一方で治安の悪さを感じる要因でもある。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ベネチア大学	所在地	ベネチア
最寄空港	マルコポーロ空港	空港からの距離	13km
空港⇄大学	(バス＋徒歩) *移動手段		
学生数	23,000	留学生数	1,500
学部	Economics and Management Languages and Cultures International Studies and Globalization Preservation and Management of Cultural Heritage Science and Technology *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Sucambio Culturale *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	勉強	勉強	授業	勉強	
午後	授業 筋トレ	授業 ランニング	授業 友人と遊ぶ	授業 筋トレ	友人と遊ぶ

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業	授業	授業		授業
午後	筋トレ	授業	授業 友人と遊ぶ	筋トレ 友人と遊ぶ	

3. 履修内容

科目	English for tourism and business		
履修期間	9/1-11/30	単位数	6
授業内容／形態	Tourism や Business また Sustainability などについて議論をする際に必要な語彙やトピックを学ぶ授業。		

科目	Società e culturale postcolonial		
履修期間	9/1-1/31	単位数	6
授業内容／形態	科目名はイタリア語になっているが英語で行われる授業。脱植民地化後の国の在り方や植民地化を行っていた国の在り方について理解を深める授業。		
成績	20/30		

科目	An open city in historical perspective: venice
----	--

履修期間	11/15-1/31	単位数	6
授業内容／形態	ベネチアについて歴史的な観点から学んでいく授業。		

科目	Food and beverage management		
履修期間	2/1-4/30	単位数	6
授業内容／形態	レストラン経営や食べ物、飲み物のマネジメントについて学ぶ授業。		

科目	History of venice		
履修期間	2/1-4/30	単位数	6
授業内容／形態	ベネチアの歴史について最初期から振り返りながら学ぶ授業。		

科目	日本語学習支援インターンシップ		
履修期間	9/1-5/15	単位数	3
授業内容／形態	イタリア人学生が日本語の自由会話を行う授業でのボランティア。		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。

(800 字以上)

実際に海外に身を置いて生活する中で、自分の視野や考え方の幅が大きく広がったと感じています。これまでも一人旅で様々な国を訪れ、現地の文化や人々と触れ合う中で価値観を広げる経験をしてきましたが、留学という形で長期間その国の社会の中に溶け込むことで得られる気づきは、旅では味わえないものでした。日本では当たり前だと思っていた常識が、イタリアでは通用しない場面も多く、特に行政サービスの対応や公共交通機関の使われ方、マナーなど、これまでは気づけなかったような日常の違いに直面しました。また、イタリア人や外国人の友人が増え、今後また別の場所で会うという楽しみが出来ました。留学以前に日本で出会った友人とイタリアで再会した際には、世界は意外と広くなく、いつでも会うことができると実感しました。これを今後さらに実現させていくことが楽しみです。現地の人や旅人との会話を通じて、価値観や視野を広げていた一人旅と、日頃の生活から違いを実感できる留学では得られる気づきや学びに大きな差があり、留学ならではの経験ができたと思っています。こうした体験を通じて、文化や社会制度の違いを肌で感じるとともに、自身の当たり前が当たり前では無いことを改めて実感しました。また、イタリア人に囲まれた生活の中で、積極的に自分から話すことや、はっきりと自分の意見を伝えたりする姿勢が自然と身につきました。最初は戸惑うこともありましたが、日々の会話を重ねる中で、イタリア人のとにかくよく話すという特徴にも徐々に馴染むことができ、自分自身のコミュニケーションの在り方にも変化があったと思います。イタリアへ渡航する際、ここでしか得られない経験を最大限吸収したいという思いを胸に出発しました。その目標は、1年間の留学生活を通して確かに実現できたと自信を持って言えます。異文化の中で生活し、日常の違いを楽しみながら柔軟に対応する力を養ったこと、そして自分から積極的に関わり行動する姿勢を磨けたことは、これからどんな環境においても必ず役立つ貴重な財産になったと感じています。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。
(400 字以上)

今回の留学経験で得た「自分の常識を疑い、多様な価値観を受け入れる姿勢」や「積極的に自分の意見を発信する力」は、今後どんな環境でも活かせる大きな強みになったと感じています。イタリアでの日常生活や交流を通して、日本では当たり前だと思っていた価値観や仕組みが決して普遍的ではないことを実感すると同時に、日本の文化や社会の素晴らしさにも改めて気づくことができました。海外にいるからこそ気づけたこうした日本の良さは、国内にいただけではなかなか意識しづらいものであり、外の視点を持つことの重要性を強く認識しました。

今後は、この経験を通して得た外から見た日本の良さを発信し、国内外に広めることで社会に貢献したいと考えています。海外の人々に日本の魅力を伝えるだけでなく、日本国内の人々にも、自国の良さを改めて実感してもらえるようなことをしていきたいです。留学で培った柔軟な視点や行動力を活かし、異なる文化や価値観をつなぐ架け橋となり、日本と世界の相互理解や交流の促進に貢献したいと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。
(400 字以上)

今回の留学経験で得た「自分の常識を疑い、多様な価値観を受け入れる姿勢」や「積極的に自分の意見を発信する力」は、今後どんな環境でも活かせる大きな強みになったと感じています。イタリアでの日常生活や交流を通して、日本では当たり前だと思っていた価値観や仕組みが決して普遍的ではないことを実感すると同時に、日本の文化や社会の素晴らしさにも改めて気づくことができました。海外にいるからこそ気づけたこうした日本の良さは、国内にいただけではなかなか意識しづらいものであり、外の視点を持つことの重要性を強く認識しました。

今後は、この経験を通して得た外から見た日本の良さを発信し、国内外に広めることで社会に貢献したいと考えています。海外の人々に日本の魅力を伝えるだけでなく、日本国内の人々にも、自国の良さを改めて実感してもらえるようなことをしていきたいです。留学で培った柔軟な視点や行動力を活かし、異なる文化や価値観をつなぐ架け橋となり、日本と世界の相互理解や交流の促進に貢献したいと思っています。

